

# 日光市災害ボランティアの日

日光市にて初めて災害ボランティアセンターが設置された日をきっかけとして、**3月23日**を『日光市災害ボランティアの日』と制定いたしました。

災害ボランティア活動を支援・推進するとともに、広く市民に防災・減災意識を普及啓発する事業等を毎年実施する予定です。



災害デモンストレーション事業【避難訓練・避難所体験】  
(2013年3月23日～24日)



防災フェスタ2013 (2013年3月24日)

## ◇どこに逃げるか、確認しておこう！

- 町内・自治会などが決めた避難場所 =
- 市町村が指定する避難場所 =
- 家族で連絡が取り合えない時に約束しておく待ち合わせ場所・普段の生活をして =
- 出かけている時 =

## ■非常時の連絡先・電話番号

なまえ \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

なまえ \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

なまえ \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

## ◇覚えておこう『災害伝言ダイヤル』

災害用伝言ダイヤルは、災害発生後にNTTがシステムを開設し、被災地との電話連絡がとりにくいときでも、家族や親せきの安否確認や集合場所の連絡をすることができる便利な声の伝言板です。

### 災害用伝言ダイヤル

イ ナ イ  
**171**

伝言録音は ➡ **171** ➡ **1** ➡ 市外局番からの電話番号

伝言再生は ➡ **171** ➡ **2** ➡ 市外局番からの電話番号

## ◇防災・減災グッズを備えよう

- 0** = いつもけいたい  
携帯 いつも身につけて、災害への安心感を持ち歩こう。
- 1** = 非常持ち出し品  
持出 安全な場所へ逃げる時にさっと持ち出そう。(最低限の備え)
- 2** = 安全ストック  
備蓄 非常時にライフラインや助けがない時にしのげる物品を備えよう。(3日分～)



分類	品目	0 携帯	1 持出	2 備蓄	メモ
バッグ	非常持ち出し袋		○		リュックサックなど両手が自由になるもの
水	飲料水	○	○	○	<b>0</b> 500ml <b>1</b> 一人1.5ℓ程度
食	携帯食	○	○		チョコレート、キャンディー、栄養補給・調整食品など。
	非常食		○	○	乾パンなど、水・調理なしでそのまま食べられるもの。
装備	ヘルメット・防災ずきん・帽子など		○		頭を保護して逃げるもの。
	ホイッスル	○			
	手袋(作業用)		○		革製など丈夫な素材のものを。
	運動靴		○		
	懐中電灯(予備電池・電源も)	○	○	○	<b>0</b> ミニライト等携帯用。発電・充電式も参照。
道具	万能ナイフ類		○		ハサミ、ナイフ、カンキリなどの複合ツールが便利。
	ロープ(10m)		○		救助、避難ばしこの代用。体重を支えられる太さ。
情報	携帯ラジオ(予備電池も)	○	○		蓄電池(ライト・携帯充電器など)のものもある。 <b>0</b> は携帯性重視。 <b>1</b> <b>2</b> ではスピーカ付きが良い。
	携帯電話(充電器・バッテリーも)	○			
	連絡メモ・備えリスト	○	○		
	身分証明書(そのコピー)	○	○		健康保険証、運転免許証、パスポート、外国人登録証など。
	筆記用具(メモ帳とペン)	○	○		
	油性マジック(太)		○		伝言を書く。
	現金(10円硬貨含む)	○	○	○	公衆電話用に10円、100円玉が必要。携帯・自宅電話がつかない時。
救急	救急用品セット	○	○		消毒薬、脱脂綿、ガーゼ、ばんそうこう、包帯、三角巾などケガの手当て用品をひとまとめに。救急袋。
	毛抜き		○	○	とげ抜き、ピンセットとして使える。
	持病薬・常備薬	○	○	○	合わせて処方箋のコピーやお薬手帳も。
衛生	マスク	○	○	○	防塵用としても重要。
	簡易トイレ	○	○	○	非常時において、トイレにいけないことはかなり深刻。
	ティッシュペーパー・トイレペーパー	○	○	○	トイレペーパーは汎用性が高い。
	ウェットティッシュ		○	○	水がない時、役に立つ。
防寒	使い捨てカイロ		○		
	サバイバルブランケット		○		非常時の軽量簡易防寒具
汎用	ハンカチ(大判)・手ぬぐい	○			
	タオル		○	○	汚れの拭き取り、ケガの手当て、下着の代用等、高い汎用度。
	安全ピン	○	○		タオルを留めて下着の代用として使うこともできる
	ポリ袋	○	○	○	大小あわせて10枚程。汎用性が高い。
	ビニールシート類(レジャーシート・ブルーシート)		○	○	
	ライター(マッチでも)		○		暖房器具への点火などに。マッチよりも使い勝手が良い。
	布ガムテープ		○		多用途。屋外に伝言メモを貼るなど、利便あり。

上表を参考にあなたのご家庭に必要なグッズの検討・用意をすすめてみてください。



# やってみよう！災害ボランティア

災害にも強いまちづくりを目指して――

被災地の支援をしたいけど...  
自分ができることってあるのかな...  
迷惑にならないかな...  
自分たちが災害にあったら...



## 災害ボランティアセンターって？



## 災害ボランティアって？



日光市社会福祉協議会  
イメージキャラクター  
「ニッキー (Nikky)」

## 日光市災害ボランティア支援センター

(構成団体：日光市・社会福祉法人日光市社会福祉協議会・一般社団法人日光青年会議所)

# 災害ボランティアって？

## ①災害ボランティアとは

地震、台風などによる水害、火山の噴火などの災害が発生した場合、被災地の生活の復旧・復興や被災された人々への寄り添いやお手伝いなどを目的として、多くのボランティアが支援活動を行っています。

この災害ボランティア活動は、被災地の復旧・復興への大きな役割を果たしてだけでなく、被災地・被災者の立場にたった活動を通して、被災者の精神的な支援活動にもなっています。

## 被災された方と向き合うために

- ①復旧や復興の主役は被災された方  
ボランティアはそれをサポートする存在です。
- ②自己責任・自己完結を原則  
被災された方・被災地に負担をかけない。
- ③自分の行動計画を周囲に事前に説明  
家族の理解も大切です。
- ④仲間と一緒に  
一人で仕事を抱えこんだり、単独での行動は避けるようにしましょう。
- ⑤自分や周囲を危険に巻き込むような仕事は引き受けない  
被災された方に頼まれたとしても、危険な活動はしないようにしましょう。
- ⑥待つのもボランティア活動  
活動がない場合も少なからずあります。むりやり探すと被災地が混乱します。
- ⑦被災された方と自然に接する  
被災された方は、その地域で普通に暮らしていた私たちとなら変わらない人です。
- ⑧被災地・被災者の立場に立つ  
必要以上に自分の経験や考えを振りかざしたり、自分の判断を押し付けることは避け、被災された方の立場で考えましょう。



## ②災害ボランティアの活動内容

災害ボランティアの主な活動は、被災地での活動（家屋の片付け等被災者の困りごとへの対応、被災した方の交流等の支援など）、被災地外での活動（被災地への物資仕分け、募金など）がありますが、被災状況によりその活動内容もできることとできないことが出てきます。

### 被災地での活動例

- ◆避難所の手伝い ◆被災家屋の後片付け ◆託児
- ◆ペットの世話 ◆話し相手 ◆炊き出し ◆見守り活動 など

### 被災地外での活動例

- ◆支援物資の仕分け ◆資機材等の提供
- ◆義援金などの募金 ◆避難されている方の交流支援 など

本例は過去の災害の活動を参考にしています。  
なお、活動内容は時間の経過とともに変化します。

## ③過去の災害における災害ボランティア活動

東日本大震災では、多くの日光市民が被災地での支援活動や、市内に避難してきた方々に対する支援活動を行いました。泥かき、瓦礫撤去、畑の土おこしなど体力を要するものもあれば、被災された方の話し相手や写真の洗浄、イベントのお手伝いなどもあり、それぞれの得意分野で活躍されました。



ほくにもできることがあるッキー！

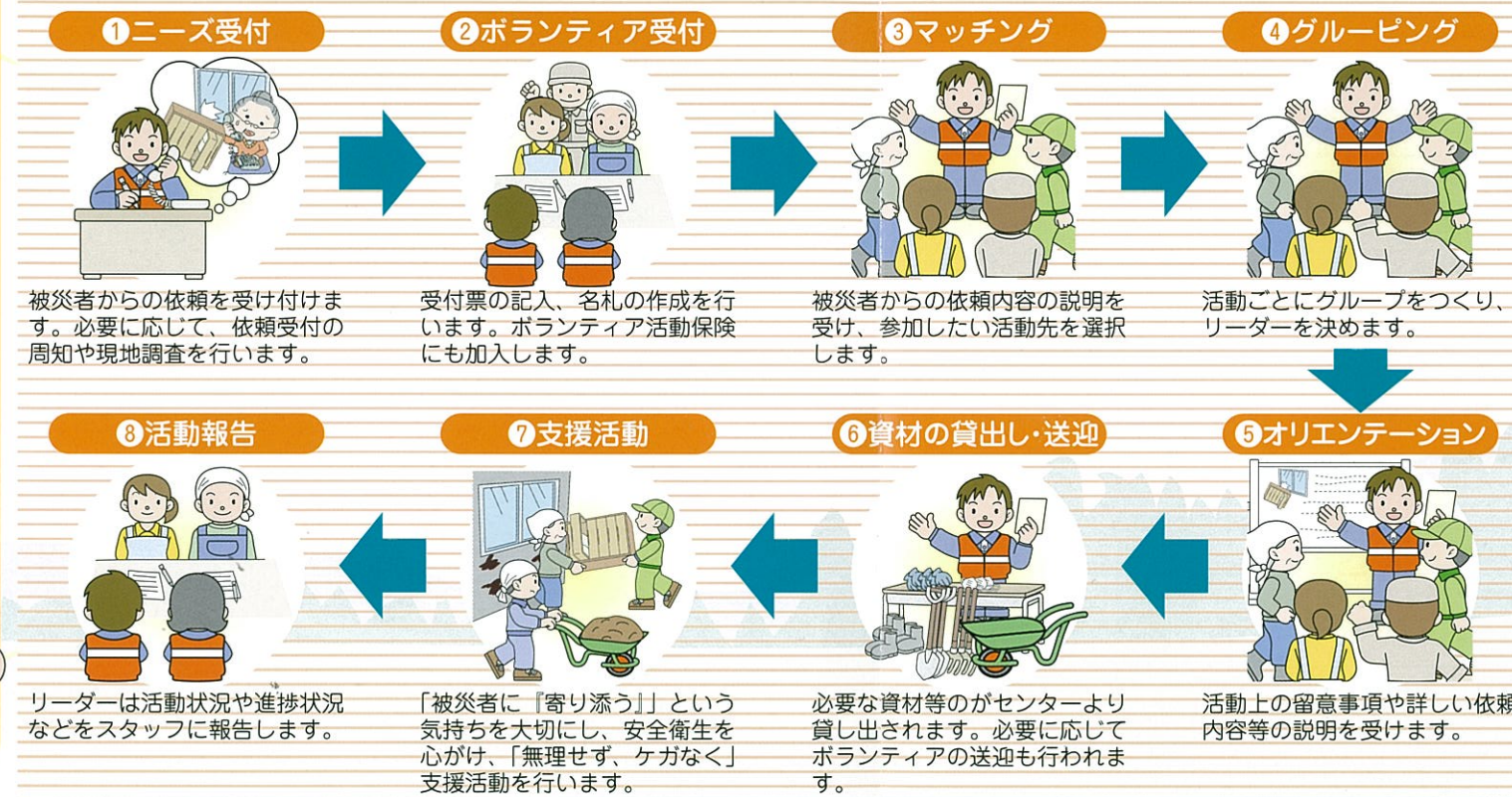


民家の泥かき（福島県相馬市）



ビニールハウスの瓦礫撤去（福島県相馬市）

## 災害ボランティアセンターにおける活動の流れ



避難者との交流事業



畑の土おこし（宮城県仙台市）

## 災害(防災)ボランティアの事前登録をお願いします

みんなでまちを  
まもるッキー！



日光市社会福祉協議会では、災害時に混乱した中でも迅速かつ効果的な支援活動が行えるよう、災害ボランティアの事前登録を行っています。

また、災害による被害を小さくするためにボランティアによる防災・減災活動も推進しています。

いざという時に備えるためにも、皆様のご理解とご協力が必要です。

災害時のボランティア活動または防災・減災活動に興味のある方は、ぜひ社会福祉協議会へご登録ください。

事前登録された方には、災害・防災に関する研修会等について優先的にご案内させていただきます。

事前登録お問い合わせ・申込先

社会福祉法人日光市社会福祉協議会  
ボランティア・福祉教育推進センター

TEL: 30-4117 FAX: 30-4118  
〒321-1261 日光市今市511-1

## ①災害ボランティアセンターとは

主に災害発生時のボランティア活動を効率よく推進するためのセンターです。

被災状況や被災者が求める支援などに関する情報を収集し、ボランティア（個人および団体）の受け入れ調整、活動紹介を行っています。

上記のように災害ボランティアと被災地を結びつける役割を担います。

## ②日光市における災害ボランティアセンターの概要

- 1) 災害ボランティアセンター設置の流れ  
災害の規模、被災状況を受けて、市災害対策本部の要請により社会福祉協議会が開設します。
- 2) こんな人たちで構成されています。  
日光市、日光市社会福祉協議会、日光青年会議所により構成される災害ボランティアセンター運営会議が中心となって「日光市災害ボランティアセンター」を運営します。

## ③過去の災害における災害ボランティアセンター

東日本大震災では全国各地で196の災害ボランティアセンターが設置され、災害ボランティア活動の支援をしました。

日光市においても平成23年3月23日に初めて災害ボランティアセンターが設置され、市内での被災に対する支援及び東北各地の復旧復興に対するボランティア活動を支援しました。

# 災害ボランティアセンターって？

## 日光市災害ボランティアセンター facebook ページ

災害ボランティア活動を行うには、自分自身で被災地の情報を収集し、ボランティア活動への参加方法や注意点を確認してください。有事の際の正確な災害情報のポータルサイトとしてご利用いただけるよう『日光市災害ボランティアセンターのFB（フェイスブック）ページ』も開設しています。市内での災害ボランティアの情報はこちらに掲載しますので、ぜひご覧ください。

